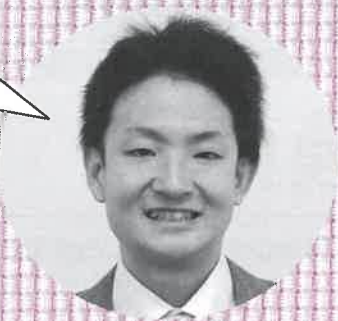


地域おこし協力隊 奮闘記 Vol.23

今月は
国吉美貴が
書いています



「1年間を振り返って」

地域おこし協力隊・国吉美貴です。このコーナーには9か月ぶりの登板です。昨年4月から農業部門の地域おこし協力隊として活動が始まり、あつという間に1年が経ちました。私にとってこの1年がどうだったのかを振り返りたいと思います。

白ネギに挑戦

私は昨年7月から、アグリマイスター鷺見博朗さんの元で、畑地での白ネギ播種・育苗・定植・管理・収穫・調整作業などの研修を受けています。

白ネギは畑にうつわっている



▲ネギ畑で

期間が長く、台風などで曲がったりします。成長期間に真っ直ぐにしてやれば回復はしますが、農業をしていると自然（天候や風）とうまくつきあっていくことが重要だと日々感じます。

また、研修会や交流会をきっかけに個性豊かな農家さんに出会うことができました。「100人農家がいれば、100人パンチの効いた個性がある」と感じました。インパクトが強い人、迫力のある人、メリハリのある人がとても多くてみなさん面白く、農業の魅力は人にもあると感じています。

定住に向けて

農業研修と同時進行で、大山町に定住していくために町の移住交流サテライトセンターや地域の方々にお世話になりながら、農家に向く家探しも始めました。

町内の空き家を活用することができればと思っていますが、まだ見つかっていません。最近、「場所を絞って探したほうが見つかりやすいのでは」と考え、大山エリア（高麗地区か所子地区）で空き家と作業場を探しています。何か良い情報・物件がありましたらぜひ教えてください。



▶大山登山も

免許をとりました！

最近では、農業以外に狩猟免許（鹿）も取得しました。猟友会の仲間に加えていただき、罠の設置方法や解体作業も勉強させてもらっています。

休日には大山登山などもし、忙しくも充実した毎日を過ごしています。

この1年間は農業研修や日々の生活を通じ、様々な事に全身を使って学びました。28年度も「大山町で定住して就農！」を目標にコツコツ頑張っていく予定です。



◀罠の設置